

## ベネズエラの最新動向(5月17日～5月31日)

### I. 政治・経済

#### 1. 民放局ラジオ・カラカス・テレビ(RCTV)放映終了に対し、ベネズエラ内外で批判の声

- 5月28日午前0時、民放「ラジオ・カラカス・テレビ(RCTV)」の放映が終了した。チャベス政権が反体制派の同局につき、政府転覆を企てた等と批判、27日付で失効する放映ライセンスの更新を認めなかったため、同局は同日をもって放映の終了を余儀なくされた。当該チャンネルでは RCTV の放映終了 20 分後には、新たな国営放送が開始された。
- 1953年に設立された RCTV は、ベネズエラにおいて放送年数が最長のテレビ局で、娯楽番組を中心に高視聴率を得ていた。民間調査機関によると、7割以上の国民が閉鎖に反対であった模様。同局の放送終了に対し、カラカス市内で連日、学生を中心とした大規模な抗議行動が行われた。
- 米国上院は5月25日、ベネズエラ政府による RCTV の放映ライセンス更新拒否につき、「思想及び言論の自由を侵すものであり、深く懸念」しているとの決議を全会一致で採択、米州機構(OAS) に対し対応を求めた。この他、欧州連合、チリの上院及び NGO のヒューマン・ライツ・ウォッチ等が RCTV にかかるベネズエラ政府の決定に懸念を示した。
- なおチャベス大統領は5月29日、米 CNN 及びベネズエラのニュース専門局グロービジョンについても、情報操作の疑いがあるとして検察当局に捜査を命じている。

#### 2. カベッサス財務大臣がボリビア及びアルゼンチンとの国債の共同発行を示唆

- 5月30日、カベッサス財務大臣は、2007年上半期中にボリビアと共同で総額5億ドルの国債発行を計画していると述べた。また、ベネズエラは本年下半期にはアルゼンチンと共同で3回目となる「Bono del Sur」発行を予定している由。新たな Bono del Sur の発行額は5～10億ドルとなる見通し。
- これらは何れもドル建て債券となる見通し。ベネズエラ政府は主に国内のドルに対する需要への対応と、流動性の吸収を、債券発行の狙いとする模様。

#### 3. 5月のインフレ率は年率19.5%に

- 6月1日付中銀の発表によると、本年5月のインフレ率は前月比で1.73%上昇し、年率では19.5%となった。コアインフレ率については、前月比1.8%上昇、年率20.2%となった。
- ベネズエラ政府は適切なインフレ率を12%程度としているが、同国のインフレ率は実際には2007年末までに前年末の17%を上回り、20%半ばに達するのではないかとみられている。

## II. 石油その他の資源セクター

### 1. 「カラボボ 2」鉱区の埋蔵量算定が終了、ベネズエラの原油確認埋蔵量は 936 億バレルに

- PDVSA の発表によると、5 月 28 日までに、オリノコ川の超重質油地帯の「カラボボ 2」鉱区の Ryder Scott 社による埋蔵量算定が終了。307 億バレルの原始埋蔵量が確認された由。
- 可採埋蔵量はこの内の約 20%に相当する 61.4 億バレル。本算定に伴い、ベネズエラの原油確認埋蔵量は現在の 876 億バレルから、936 億バレル(6.8%増)に拡大した。

以上

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。